

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-1

1. 事業概要

事業名	内部管理(法人会計)				
目的及び内容	事務、各種会議開催等				
目標(値)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	目標値				
	実績値				

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(計画)	
コスト	5,275,585	5,310,549	5,145,890	5,320,000	
事業費	1,305,185	1,340,149	1,101,570	1,276,000	
財源内訳	補助金・負担金				
	うち県分				
	受託料等	131,300	181,961	158,408	200,000
	うち県分	131,300	181,961	158,408	200,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入	664,248	658,245	649,628	658,000
	使用料・入場料等				
借入金					
その他(上記以外)	509,637	499,943	293,534	418,000	
人件費	3,970,400	3,970,400	4,044,320	4,044,000	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	3,970,400	3,970,400	4,044,320	4,044,000

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	—	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>税理士の指導の下、適切な会計管理を行った。 会計業務の委託経費については、各公益事業にも按分して計上している。</p>		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-2

1. 事業概要

事業名	公1 障がい者のスポーツ活動の振興			
目的及び内容	1. 全国障害者スポーツ大会強化派遣事業 2. 島根県障がい者スポーツ大会開催事業 3. 島根県障がい者スポーツ大会実行委員会開催事業 4. 選手強化育成事業 5. 団体強化派遣事業 6. 障がい者スポーツ活動支援助成事業 7. スポーツ教室開催事業			
目標(値)	県大会参加者			
		H28年度	H29年度	H30年度
	目標値	850名	850名	850名
	実績値	725名	799名	716名

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(計画)	
コスト	40,011,618	37,143,920	32,789,941	42,103,000	
事業費	28,100,418	25,232,720	20,656,981	29,971,000	
財源内訳	補助金・負担金		212,000	1,000,000	
	うち県分				
	受託料等	24,008,181	21,664,234	16,127,919	24,703,000
	うち県分	24,008,181	21,664,234	16,127,919	24,703,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入	2,105,958	2,088,174	2,061,480	2,084,000
	使用料・入場料等				
借入金					
その他(上記以外)	1,986,279	1,268,312	2,467,582	2,184,000	
人件費	11,911,200	11,911,200	12,132,960	12,132,000	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	11,911,200	11,911,200	12,132,960	12,132,000

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	C	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	○県大会は11競技行っているが、その競技人口や開催地などにより年度ごとに参加人数に変動がある。30年度は競技人口の多い陸上競技会を松江市で開催したことから参加人数が増加した一方、フライングディスク競技会は大幅に減少した。また、悪天候によりソフトボール、グラウンドゴルフ競技会を当初開催日に中止し、1週間後の予備日に開催したことから参加人数・チームが激減し、全体として前年度比10.4%減の716名参加となった。 ○全国大会への団体競技出場がかなわず(中四国予選大会にて敗退)、選手団規模が大幅に縮小した。 ○基本財産を活用し、県内におけるトップアスリートの強化育成事業に取り組んでいるが、30年度から1名追加し2名のアスリートを支援した。それぞれに全国規模の大会で優秀な成績を収めることができた。		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-3

1. 事業概要

事業名	公2 障がい者のスポーツ活動に関する調査研究及び啓発広報			
目的及び内容	1. 障がい者スポーツの集い開催事業 2. 広報啓発活動 3. 障がい者スポーツ功労者等表彰事業 4. 障がい者スポーツ関係者会議			
目標(値)	障がい者スポーツの集い参加者数			
		H28年度	H29年度	H30年度
	目標値	700名	700名	700名
	実績値	545名	600名	982名

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(計画)	
コスト	3,972,605	3,726,216	3,749,893	3,462,000	
事業費	1,987,405	1,741,016	1,727,733	1,440,000	
財源内訳	補助金・負担金	1,195,000	498,000	698,000	444,000
	うち県分				
	受託料等	65,650	90,980	79,203	79,000
	うち県分	65,650	90,980	79,203	79,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入				
	使用料・入場料等				
借入金					
その他(上記以外)	726,755	1,152,036	950,530	917,000	
人件費	1,985,200	1,985,200	2,022,160	2,022,000	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	1,985,200	1,985,200	2,022,160	2,022,000

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	b	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>○障がい者スポーツの集いとして開催した「しまねレクリエーション・フェスティバル」については、共催団体(県・県体育協会・県レクリエーション協会)と協議し、2会場(松江市・浜田市)で開催した。両会場で車いすバスケットボールの日本代表選手等を迎え、デモンストレーションや体験などを通して多くの県民がパラスポーツに触れる機会とすることができた。</p> <p>○他団体が主催する各種イベント等において、障がい者スポーツに関する展示やパラスポーツの紹介・体験会などを実施し、障がい者スポーツの理解促進を図った。(8件実施)</p>		

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-4

1. 事業概要

事業名	公3 障がい者スポーツ活動の支援者育成			
目的及び内容	1. 障がい者スポーツ指導員活動の強化支援 2. 障がい者スポーツボランティアの推進			
目標(値)	障がい者スポーツ活動を推進するためのキーパーソンとなる障害者スポーツ支援者数			
		H28年度	H29年度	H30年度
	目標値	550名	580名	630名
	実績値	557名	618名	653名

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(計画)	
コスト	2,330,448	2,579,021	2,457,527	2,573,000	
事業費	345,248	593,821	435,367	551,000	
財源内訳	補助金・負担金		300,000	250,000	
	うち県分				
	受託料等	65,650	90,980	79,203	79,000
	うち県分	65,650	90,980	79,203	79,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入	100,661	99,747	98,420	100,000
	使用料・入場料等				
借入金					
その他(上記以外)	178,937	103,094	7,744	122,000	
人件費	1,985,200	1,985,200	2,022,160	2,022,000	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	1,985,200	1,985,200	2,022,160	2,022,000

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	b	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>○日本障がい者スポーツ協会の助成金を活用し、初級障がい者スポーツ指導員養成研修を実施した。県内理学療法士養成校からの受講者が多くあり、新たに35名を養成することができ、障がい者スポーツ指導員数が累計で653名となり、目標を上回ることができた。</p>		

経営評価報告書[事業実績総コストシート(各法人共通)]

(C)

コスト等の推移

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(計画)	
総コスト	51,990,256	48,759,706	44,143,251	53,458,000	
事業費	32,138,256	28,907,706	23,921,651	33,238,000	
財源内訳	補助金・負担金	1,195,000	1,010,000	948,000	1,694,000
	うち県分				
	受託料等	24,670,781	22,028,155	16,444,733	25,061,000
	うち県分	24,670,781	22,028,155	16,444,733	25,061,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入	2,870,867	2,846,166	2,809,528	2,842,000
	使用料・入場料等				
	借入金				
その他(上記以外)	3,401,608	3,023,385	3,719,390	3,641,000	
人件費	19,852,000	19,852,000	20,221,600	20,220,000	
職員別内訳	役員、評議員				
	正規職員、その他職員	19,852,000	19,852,000	20,221,600	20,220,000
財源内訳	補助金・負担金				
	うち県分				
	受託料等	19,852,000	19,852,000	20,221,600	20,220,000
	うち県分	19,852,000	19,852,000	20,221,600	20,220,000
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入				
	使用料・入場料等				
	借入金				
その他(上記以外)					
総コストの財源内訳	補助金・負担金	1,195,000	1,010,000	948,000	1,694,000
	うち県分	0	0	0	0
	受託料等	44,522,781	41,880,155	36,666,333	45,281,000
	うち県分	44,522,781	41,880,155	36,666,333	45,281,000
	(上記のうち指定管理料)	0	0	0	0
	県が造成補助した運用財産の取崩収入	0	0	0	0
	資産運用収入	2,870,867	2,846,166	2,809,528	2,842,000
	使用料・入場料等	0	0	0	0
	借入金	0	0	0	0
その他(上記以外)	3,401,608	3,023,385	3,719,390	3,641,000	
総コスト(財源内訳の計)	51,990,256	48,759,706	44,143,251	53,458,000	